

足久保こども園 自己評価

A…できた B…一部改善が必要 C…改善しなければならない

1 教育・保育理念／教育・保育方針		
1	理念や基本方針は、会議や研修等をもって、職員への周知が図られている	A
2	理念や基本方針、教育・保育方針を基に全体的な計画が立てられている	A
3	理念や基本方針、教育・保育観を職員間で確認する機会がある	A
4	理念や基本方針を利用者に資料をもとに説明している	B
・法人、こども園の理念に基づく基本方針を文明化しておりその内容が適切である。 ・理念、方針を職員へ周知できているが、令和7年度は理念、方針についての語り合いをして、職員全員で理念、方針の見直しをしていきたい。 ・保護者には入園時に重要事項説明書にて説明し、配布物を通して保育理念や方針等を周知している。		
2 教育・保育計画の策定・保育実践		
1	事業／教育・保育計画は園の理念、保育の方針や目標に基づいて作成している	A
2	全体的な計画を基に、各クラスで年間の目標を立案し計画的に保育を行っている	B
3	教育・保育の振り返りを定期的に行い、今後に生かせるようにしている	A
・園の理念に基づき、教育・保育方針や目標、さらに地域の実態や保護者の意向等を考慮し作成している。 ・ICTを利用し、常に業務効率化を考えながらも、保育計画、保育の振り返り、保育の配慮をよりよくできるよう検討し、向上できるよう努力している。 ・教育・保育の振り返りはできているが、指導計画に対する評価、及び結果は次の計画作成に活かしていないのが課題である。		
3 安全管理・環境		
1	様々な災害を想定した避難訓練を実施し、非常時の判断力を培う	A
2	発生した事故、怪我を把握している	A
3	園内外が清潔で心地よい空間となっている	B
4	職員に対して、安全確保・事故防止に関する研修をおこなっている	A
・事故や災害に適應できるマニュアルがあり、全職員が持ち、内容を周知しあっている。定期的に見返すことが大切である。 ・保育室と園庭環境の見直しをしている。令和7年度に職員研修を行い、より良い環境を作っていきたいと考えている。 ・危険箇所を見つけたすぐに声を上げなおすことができた。		

4 地域社会や小学校との連携		
1	利用者と地域との関わりを広げる働きかけを大切にしている	B
2	施設が有する機能を地域に還元している	B
3	地域の保育園や幼稚園、小学校、中学校との交流を行っている	A
・小学校児童とこども園児との交流を行ったり、情報交換するなど、小学校との連携体制がとれている。 ・地域の豊かな自然や文化などを取り入れた活動を更に深めていきたい。		
5 食育		
1	食育の重要性を理解し、季節や年齢に合わせた食育計画を立てている	A
2	調理師、栄養士、保育者が連携し、食育を積極的に進めている	A
3	食材の安全に配慮した上で、様々な食材を味わえるようにしている	A
4	離乳食やアレルギー除去食などの特別食に配慮している	A
・園で栽培した野菜などの収穫体験を通し、食べることの楽しみにつなげる食育活動を行った。 ・安心安全な調理の徹底。食物アレルギー児や離乳食児への細やかな対応ができた。 ・地域の様々な食文化等に関心を持つことができるように工夫していきたい。 ・子どもが生活と遊びの中で、食事を楽しみ合うよう、職員全体で働きかけていくよう、より一層工夫していく。		
6 職員体制と役割・研修		
1	職員の仕事や役割を明確にし、連携しながら円滑に保育が進められるよう心掛けている	A
2	職員は互いに情報を共有し合って教育及び保育を進めている	A
3	園内、園外研修の年間計画を立て実行している	A
4	各職員が保育を深めるための研修を積極的に行っている	B
・前年度の反省と次年度への取り組みを会議で話し合い、例年にとらわれることなく新しい意見を取り入れやすい雰囲気づくりを心がけている。 ・園外の研修は計画を立て、保育士の資質が向上できるよう交代で参加しているが、全員が主体的に取り組む姿勢になれるよう努力が必要である。 ・研修委員会を中心に園内研修を月に一度行い、職員がやりたい研修、今一番足りていないこと、周知し合いたい内容を自分たちで取り上げた研修を行うことができた。 ・園内研修を時間のない中でさらに充実していき、外部との合同研修なども意欲的に取り組んでいきたい。		

7 子育て支援・保護者支援		
1	地域で子育てしている親子と園児との交流を積極的に進めている	B
2	保護者に対し、園での子どもの様子がわかるよう発信をしている	A
3	保護者の状況等、個人情報の漏洩に気を付けている	A
4	保護者の子育てを支え、子育ての喜びを共感する様心掛けている	A
・緊急入所や一時保育等についても、関係機関と連携し、柔軟かつ速やかに行われるよう努めている。 ・送迎の際の対話やアプリへの記載などの情報交換に加え、保護者と必要に応じて、相談に応じたり個別面談などを行っている。 ・初めて利用する親子が溶け込みやすい雰囲気づくりをしている。		